

《様式3》 車いすハーフマラソン出場者 クラス分け基準表

【クラス分け】

<p>クラス1 (T51)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通常、肘関節屈曲と手関節刃背屈が筋力5レベル ・肩関節の筋力低下、特に大胸筋と上腕三頭筋に筋力0～3レベルを認める。 ・車椅子を駆動する際に肘関節屈曲と手関節背屈を使用する。 ・あごの下に膝を置いてまっすぐに座っている。 ・損傷レベルがC5-6完全と等しい障がいレベル
<p>クラス2</p>	<p>T33</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四肢麻痺、三肢麻痺、重度の片麻痺-中等度(非対称性または対称性)の四肢麻痺、またはより機能の良い側の障がいの上肢にほぼ完全な筋力があり車いすを使用する重度の片麻痺。自立して車いすを推進することができる。 上肢-少なくとも障がいのある上肢は伸展とフォロースルーの制限がある 痙性グレード2の中程度の制限。障がいのある手が円筒状と球状の握りを示すことがある。 体幹-車いすを力強くプッシュする時、前方への体幹の動きは、伸展痙性によってしばしば制限される。痙性グレードは2。 下肢-痙縮グレード3～4。いくつかの明らかな機能が、トランスファー時に観察することができる。介助または歩行支援用具を使って歩行ができる可能性もあるが、短距離のみである。 <p>駆動動作時に、素早い体幹運動を使うこと、または上肢運動の明らかな非対称性、もしくは握りとリリースに非常に貧しい能力を示した場合はクラスT33。片下肢で車いすを駆動する場合、ロングストロークや素早い握り、リリースを行っていてもT33である。</p>
	<p>T52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常、肩関節・肘関節・手関節は正常 ・手内筋の傷害を伴い手指屈曲・伸展筋力が2～3レベル ・車椅子駆動時に肩関節・肘関節・手関節を使用 ・通常、体幹機能はなし ・クラスT53、T54の選手に類似したグロービング技術を使用する可能性有り。 ・損傷レベルC7-8と等しい障がいレベル。
<p>クラス3</p>	<p>T34</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両麻痺-中等度から重度。上肢と体幹の障がい(制限と問題)は最小限で機能は良好。 上肢-多くの場合、正常の機能を示す。関節可動域の最小限の制限があるが、ほぼ正常なフォロースルーが可能。早く細かい運動に制限有り。両麻痺は上肢よりも下肢の方がより痙性が強い。痙性グレード1～2。手、上肢、体幹を機能的に動かすことが可能。 体幹-痙縮グレード1～2。車いす駆動時の体幹の動きは最小限の制限。立位時、バランスは補助器具を使用して不良(poor)である。 下肢-中等度から重度。両下肢とも痙性グレードは3～4。通常、補助具を使用せずに長距離歩行はできない。車いすの駆動では長く、力強い駆動、素早い把持とリリースが可能である。しかし、手の細かい動きが影響を受ける可能性有り。駆動時に、これらの細かい動きは必須ではない。体幹の前方および後方の強い動きは、上肢のストロークをサポートしている。これらの体幹運動が起こらない場合には、体幹はバランスが取れており、上肢の動きのための安定性を提供している。車いすは曲線を走行する時、体幹はバランスを崩すことはない。
	<p>T53</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腹筋または下部脊柱筋力は無し。上肢筋力は正常。 ・水平位を保つことを含む腹部筋力が無いのを補うため異なる技術を使用。 ・競技中にベースを速くする時の加速はクラスT54よりも遅い。 ・一般的に、加速をした時に、体幹を前傾で保持するための腹筋力が不足しているため、下肢から体幹が浮き上がってくる。 ・通常、補正装置(コーナーハンドルやトラックレバー)を調整するために、駆動周期を中断しなければならない。 ・損傷レベルT1-7完全と等しい障がいレベル。
	<p>T54</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正常な上肢筋力と不完全から正常なレベルの体幹コントロールが可能な体幹能力を持つ。 ・有効な下肢筋を持っている場合もある。 ・ハンドリムへ推進力を伝える時に体幹を前傾姿勢で保持する事を可能にする正常な体幹コントロール能力を持っている。 ・通常、補正装置(コーナーハンドルやトラックレバー)を調整するために、駆動周期を中断しなくてもよい。 ・体幹を起こし、車椅子へ体幹の回旋力を伝えることによって、車椅子の進行方向を変えることができる。 ・損傷レベルT8-S4完全と等しい障がいレベル。

※国際車椅子・切断スポーツ連盟競技規則から抜粋